



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

ギリシャの債務不履行が事実上確定しました。EUからの金融支援の条件となっている緊縮財政改革をギリシャ側が受け入れぬまま、6月末にIMF（国際通貨基金）からの融資返済期限が到来し、以降続々と様々な支払期限がやって来ます。

世界の金融市場は、最終的にはEUの支援継続と織り込んでいたため、予想外の展開に動揺が走って、世界同時株安！と月末月初にかけて悲観的な報道が相次ぎました。しかし冷静に市場を見れば、月末前日の下落幅は日経平均が年初来最大の下げと言いながら約3%、米ダウでも2%未満であり、リスクオフとなって円高・債券高へと資金が大きくシフトしたわけでもありません。

3年前のギリシャ危機は、その後スペイン・イタリアといった南欧大国にまで金融危機が伝播して、確かにEU全体も混乱をきたしましたが、以後ユーロ圏では各国の財政難や銀行の資本不足或いは資金繰りにも即座で柔軟に対応できる、様々なメカニズムを整備して来ました。つまり危機管理体制が、3年前とは歴然と違うのです。しかも現在ギリシャ国債の民間保有は全体の12%に過ぎず、EU側もその所在をほぼ把握しているはずで、メディア報道はギリシャショック再来と煽り立てますが、長期投資家が再びユーロ危機！と震え上がるのはいささか短絡的と言えましょう。

ギリシャという南欧の小国から目をグローバルに転じてみれば、米国では前四半期がマイナスだったものの、以降は景気回復の底堅さを示しており、欧州の景気も底入れして持ち直し始めました。そして日本の景気は最も安定して穏やかな回復基調を続けていて、地球経済全体は日米欧先進国経済が、明確にけん引役を果たしています。この先は米国の利上げ実施による、ロシア・ブラジル・南アなど経常赤字の新興大国からの資金流出に対する懸念や、ドル高の行き過ぎ、或いは資源価格動向にも足元の不確定要因はありますが、やっぱり世界経済は先進国主導の成長軌道がしっかり維持されるでしょう。

ギリシャ問題は、ギリシャ国民にとっては長く苦しい苦境ですが、世界の金融市場に及ぼす影響は、暫くすると局所的ボヤとして鎮静するものと考えています。

月末からギリシャに揺さぶられた金融市場ですが、荒れた天候は長続きしないと悠然と通り抜けて、「セゾン号」は変わらず進んでまいります。

中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00～17:00 土日祝日、年末年始除く）

セゾン資産形成の達人ファンド

6月の市場動向

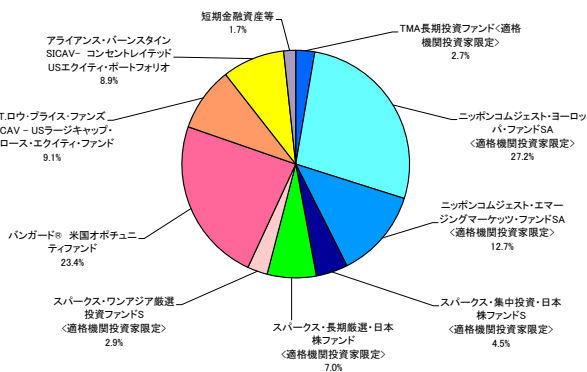
株式：【米国で低金利が長期間継続するとの見方を背景に上昇する局面もあったものの、ギリシャ情勢を巡る不透明感が高まり下落】米連邦公開市場委員会（FOMC）を経て、米国で低金利が長期間継続するとの見方が強まり上昇する局面もあったものの、終盤に欧州連合（EU）によるギリシャへの支援交渉がまとまらなかったことで、情勢が流動的となり、先行きへの不安が広がって下落しました。

為替：【ユーロが上昇し、ドルが下落。円はリスク回避の動きを受けて終盤に反発し、対ドルで円高、対ユーロではほぼ変わらず】低金利が長期間継続するとの見方が強まりドルが下落する一方で、ユーロは金利が上昇基調となったほか、ギリシャ問題がユーロ圏全体には波及しないとの見方が広がり上昇しました。円は海外との金利差が拡大して途中まで軟調な展開となったものの、終盤に反発しました。

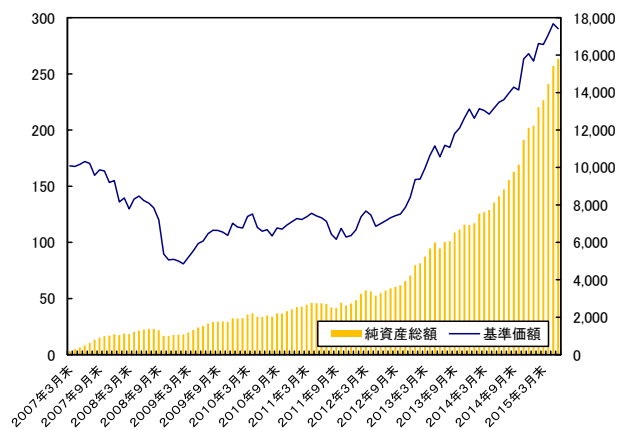
基準価額と純資産総額及び騰落率（2015年6月30日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
17,413円	263.3億円	+74.13%	-1.52%	+8.36%	+29.14%

資産配分状況（2015年6月30日現在）



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



6月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランでの購入やスポット購入により、皆さまからお預かりした資金を利用して、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、コムジェストヨーロッパファンド、T.ロウ・プライス米国大型グロースファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、コムジェストエマージングマーケットファンド、米国オポチュニティファンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月から低下し、月末時点で1.7%となっております。

ファンドマネジャーからの一言

ギリシャは人口面でも経済規模の面でも小さな国ですが、欧州の南東に位置していて、ロシアやアジアとの距離が近いことから、ヨーロッパ諸国やアメリカにとって、地政戦略上の重要性は低いものではなく、欧州連合（EU）は、支援を行うための妥協点を見出す努力を続けています。

ただ、欧州連合（EU）とギリシャの主張の隔たりは大きく、今後もギリシャ情勢が金融市場の不安定要因となる状況も想定されますが、当ファンドでは、引き続き、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な市場の動向ではなく投資対象の価値を重視して株式投資を継続することで、リスクを抑えながら皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5832%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く）



セゾン投信